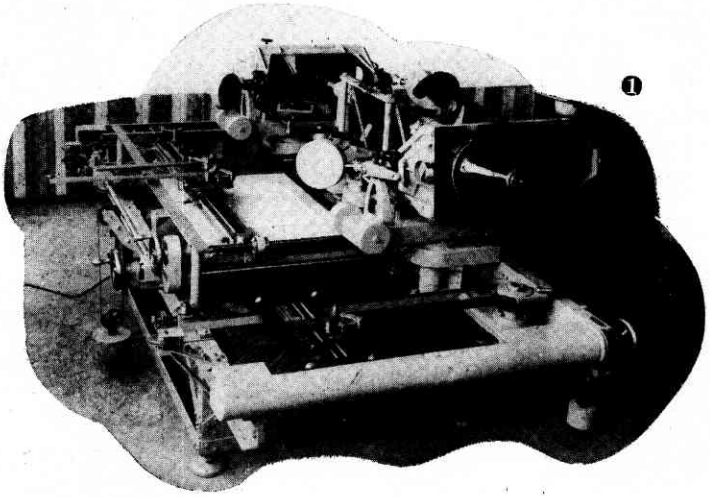


❶

① **地上寫眞測量用圖化機械**

約6倍に擴大した寫眞面上で1/100 mmのオーダーの精密な測定を行い得る。　—研究者　丸安隆和—

② **小型試驗溶銑爐による酸素製鋼法の實驗**

溶銑爐湯溜中の溶銑に直接空氣又は酸素を吹込む。

26年度から試驗溶鑄爐への適用に進んでいる。

—研究者　金森九郎—

②

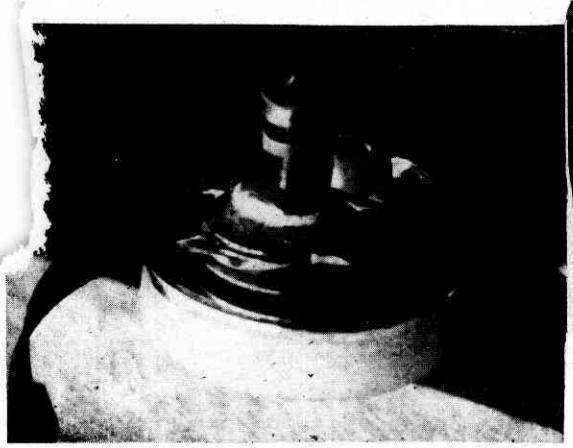
中間試驗研究の紹介

直接工業に役立つ研究とするためには，實驗室での研究成果をさらに一歩二歩推し進めて，實用に供し得る段階まで行わなければならない。生研中間試驗部の研究として昭和25年度に取り上げた研究は12件で，その中のあるものは本誌上に發表されている。（本誌３頁「實用化への諸研究」參照）

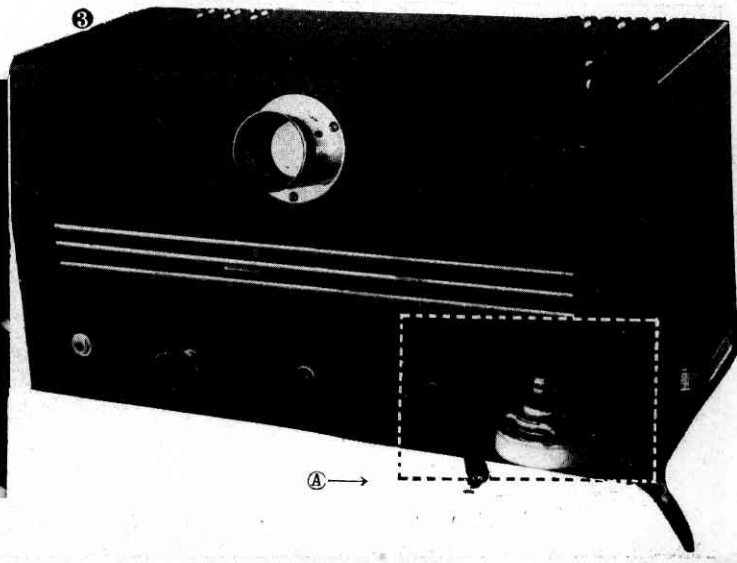
③ **ブラウン管型時計歩度測定測置**

１分以内で供試時計の１日に１秒の誤差を明示する。

—研究者　高木　昇・尾上守夫—



A部擴大

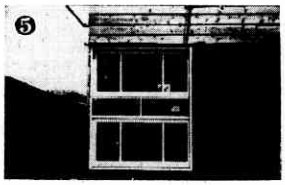


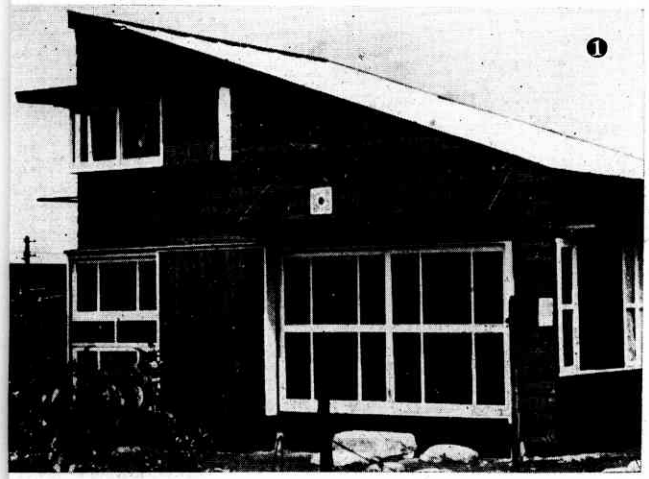
❸

Ⓐ⟶

標準寸法による住宅

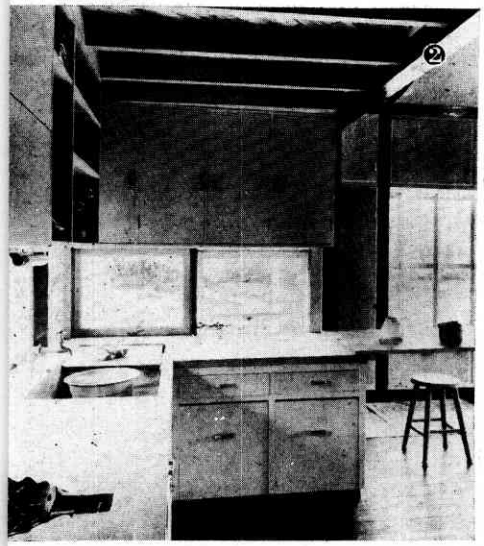
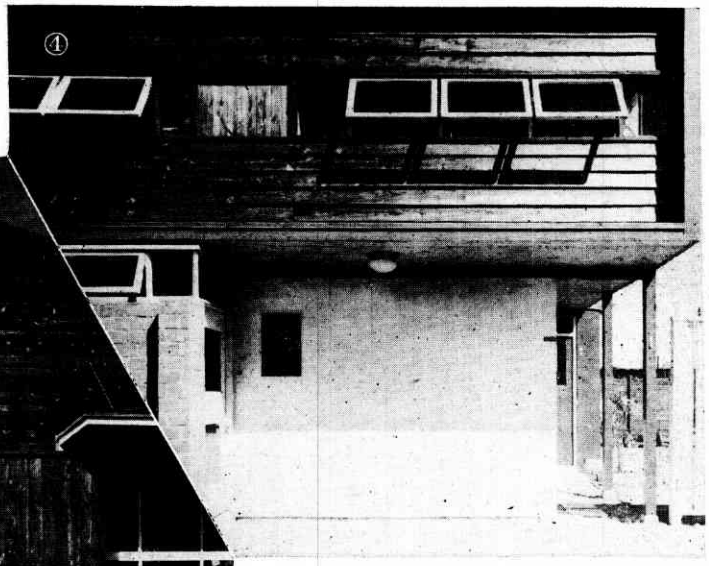
解説　池辺　陽（本文54頁参照）





① この住宅は標準単位として基本単位を使用して試作した試作住宅第3號である。

② **試作住宅第3號の台所**　作業面高さは75cm，巾は62.5cm，窓の大きさは 50cm×75cm，上部棚は 37.5 cm×75 cm，天井高さは2 m，天井に見える梁の間隔は37.5 cmである。

③，④ **試作住宅第4號**　1階居間は1.5m×1.75m の引戸，書齋部分は 75cm×75cm の窓，2階は75cm×50cmの窓が見える。75cm×50cm の窓は2段に重ねても使用する。柱は 1.5m 間隔に建てられている。

⑤ **窓處理の一例**　1.5m×75cm の窓が2階に取られ，中央に 25cmのはめ殺し部分がつくられている。窓きわに机をおく場合などに使用する。（試作住宅第4號）